

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公表番号】特表2007-504323(P2007-504323A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-525346(P2006-525346)

【国際特許分類】

C 1 1 D	3/43	(2006.01)
C 2 3 G	5/032	(2006.01)
C 2 3 G	5/036	(2006.01)
C 1 1 D	1/72	(2006.01)
C 1 1 D	1/722	(2006.01)
C 1 1 D	3/32	(2006.01)
C 1 1 D	3/30	(2006.01)
C 1 1 D	3/36	(2006.01)
C 1 1 D	3/20	(2006.01)
F 0 1 D	25/00	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	3/43	
C 2 3 G	5/032	
C 2 3 G	5/036	
C 1 1 D	1/72	
C 1 1 D	1/722	
C 1 1 D	3/32	
C 1 1 D	3/30	
C 1 1 D	3/36	
C 1 1 D	3/20	
F 0 1 D	25/00	R

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月15日(2007.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) グリコールアルキルエーテル化合物と、(b) 炭素数3～18のアルキル鎖長を有するアルコキシリ化界面活性剤と、(c) 金属防食剤成分との混合物を含むガスタービン洗浄組成物。

【請求項2】

前記グリコールアルキルエーテル化合物が、プロピレングリコールメチルエーテル、ジプロピレングリコールメチルエーテル、トリプロピレングリコールメチルエーテル、プロピレングリコールn-プロピルエーテル、ジプロピレングリコールn-プロピルエーテル、トリプロピレングリコールn-プロピルエーテル、プロピレングリコールn-ブチルエーテル、ジプロピレングリコールn-ブチルエーテル、トリプロピレングリコールn-ブチルエーテル、ジエチレングリコールエチルエーテル、ジエチレングリコールジメチルエーテル、ジエチレングリコールエチルエーテル。

ーテル、ジエチレングリコールメチルエーテル、ジエチレングリコールn-ブチルエーテル、ジエチレングリコールヘキシルエーテル、エチレングリコールプロピルエーテル、エチレングリコールn-ブチルエーテル及びエチレングリコールヘキシルエーテル、並びにこれらの混合物からなる群から選択される、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記アルコキシリ化界面活性剤が、第一級又は第二級アルコールの非イオン性エトキシレート、プロピレンオキシドを有するアルコキシリ化第一級アルコール、及びプロピレンオキシドとエチレンオキシドのブロックコポリマー、並びにこれらの混合物からなる群から選択される、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

前記金属防食材成分が、N-メチルオレアミド酢酸、トリエタノールアミン、1,8-オクタンジカルボン酸、(((2-ヒドロキシエチル)イミノ)ビス-(メチレン))ビス-ホスホン酸N-オキシド、((テトラヒドロ-2-ヒドロキシ-4H-1,4,2-オキサホスホリン-4-イル)メチル)ホスホン酸N-オキシド、及び5-メチル-1,2,3-ベンゾトリアゾール、並びにこれらの混合物からなる群から選択される、請求項1記載の組成物。

【請求項5】

前記アルコキシリ化界面活性剤が炭素数6~15のアルキル鎖長を有する、請求項1記載の組成物。

【請求項6】

前記アルコキシリ化界面活性剤が非イオン性である、請求項1記載の組成物。

【請求項7】

前記混合物のpHが6.5~9である、請求項1記載の組成物。

【請求項8】

前記混合物の残渣含有量が0.01%未満である、請求項1記載の組成物。

【請求項9】

前記混合物のアルカリ金属の含有量が25ppm未満である、請求項1記載の組成物。

【請求項10】

動力を大きく損失することなく、動力発生中にガスタービンコンプレッサ及びそのブレードを洗浄する方法であって、洗浄する表面を、(a)グリコールアルキルエーテル化合物と、(b)炭素数3~18のアルキル鎖長を有するアルコキシリ化界面活性剤と、(c)金属防食剤成分との混合物を含む洗浄組成物と接触させる段階を含む方法。